

第二回（平成22年度）全国学校図工・美術写真公募展

『図工・美術授業にカメラ 写して発見、深まる表現』

これからの社会に生きる子ども達にとって、視覚的なコミュニケーションやプレゼンテーションの能力、そしてそれらの能力に不可欠な豊かな感性と想像性は一層求められてくるでしょう。そうした資質や能力を育むために、図工・美術の授業にカメラを取り入れることは極めて有効であるということが、社団法人日本広告写真家協会と全国造形教育連盟による小学校・中学校での実践教育を通して明らかになってきました。

カメラによる写真表現は、自らの感性による「発見即表現」できるという特徴をもっています。カメラを図工・美術の授業に取り入れることによって、全国の子ども達が見る力・感じる力・つくり出す力を培って行くことを願い、本公募展を開催いたします。

【応募期間】平成22年6月1日(火)～11月26日(金) 11月26日消印有効

【応募先】〒108-0071 東京都港区白金台3-15-1 白金台シティハウス2F APA事務局

【お問い合わせ】第二回「全国学校図工・美術写真公募展」係 TEL.03-5449-0580(平日10:00～17:00)

【入選・入賞発表】1月中旬までに、応募された学校を通して審査結果を通知いたします。また、(社)日本広告写真家協会のホームページ(<http://www.apa-japan.com>)にも掲載いたします。

【賞】文部科学大臣賞(予定) 1作品 / 全国造形教育連盟委員長賞 小学校の部、中学校の部各1作品
APA賞 小学校の部、中学校の部各1作品 / 優秀賞 15作品/奨励賞 約110作品 / 入選 約220作品

【審査員】審査委員長/鈴木英雄 社団法人日本広告写真家協会副会長

副審査委員長/永関和雄 全国造形教育連盟 委員長

審査員/吉村 剛士 東京工芸大学 名誉教授 村上尚徳 文部科学省 教科調査官

松永かおり 東京都教育委員会 指導主事 三澤一実 武蔵野美術大学 教授

坂本隆志 社団法人日本広告写真家協会 学校写真教育推進事業部長

城ノ下俊治 社団法人日本広告写真家協会 学校写真教育推進事業部副部長

【写真展会場】東京都写真美術館

東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

【会期】平成23年 3月5日(土)～20日(日)

APAアワード2011との併設展になります。

※詳しくはAPAのホームページをご覧ください。



主催:社団法人日本広告写真家協会(第二回「全国学校図工・美術写真公募展」実行委員会委員長 白鳥真太郎)

共催:全国造形教育連盟、東京都写真美術館

後援:文部科学省(予定)、東京都教育委員会(予定)

協力:APA法人賛助会員各社